

# 令和7年度 県政運営の基本的考え方（案）

第4次山形県  
総合発展計画の  
基本目標

人と自然がいきいきと調和し、真の豊かさや幸せを実感できる山形

## 本県を取り巻く情勢

- ・ 少子高齢化を伴う人口減少の加速、依然として続く若者・女性の県外転出
- ・ 人手不足の深刻化、外国人材の受入拡大
- ・ 物価高騰の長期化、賃上げの動きの拡大
- ・ 気候変動の加速、自然災害の頻発・激甚化
- ・ デジタル化の加速、生成AI等の新技術の台頭
- ・ 地方移住の関心の高まり、多様な働き方・暮らし方の拡大
- ・ 社会経済の持続可能性や多様性を尊重する機運の高まり

## 第4次山形県総合発展計画の進捗状況 （前期5年間の成果と課題）

- ・ 未来を担う人材の育成・確保や産業経済の振興・活性化に向けた体制の充実、高速交通ネットワークの整備進展、本県の豊かな自然を保全・活用する取組みの展開など、長期構想の基本目標の実現に向けた取組みが着実に前進
- ・ 一方で、人口減少が加速する中、これまで以上に人口減少対策の重要性が増大
- ・ 引き続き人口減少の抑制に努めるとともに、人口が減少する中であっても、県民が豊かさや幸福を実感できるよう、将来にわたり、暮らしの質と地域の活力の向上を図っていくことが必要
- ・ その土台として、県民の安全・安心の確保に向けた取組みをより一層強化していくことも必要

## 政府の政策動向

### （「経済財政運営と改革の基本方針2024」）

- ・ 『成長型の新たな経済ステージへの移行』  
デフレ完全脱却の実現  
豊かさや幸せを実感できる持続可能な経済社会の実現

### <主な政策の方向性>

- ・ 賃上げの促進、中堅・中小企業の活性化
- ・ 革新技術の実装（DX、GX等）
- ・ 海外活力の取込み（外国人材の受入れ等）
- ・ 地方創生の新展開（※）
- ・ 観光立国、農林水産業の持続可能な成長と食料安全保障
- ・ 共生・共助、女性活躍社会づくり
- ・ 防災・減災、国土強靱化の推進
- ・ 少子化対策・こども政策の推進 など

※「地方創生10年の取組と今後の推進方向」（R6.6）を踏まえ、『強い危機感を持って地方創生の新展開を図る』旨記載

## 今後の施策展開の方向性

### 基本的な考え方

- 長期構想の基本目標の実現に向けて、本県発展の源である人口の減少スピードの緩和に粘り強く取り組むとともに、当面、人口減少が避けられない中で、暮らしの質と地域社会の活力の向上を図る、「抑制」と「対応」の両面からの「人口減少対策」を強化  
その際、地域活性化への貢献はもとより、将来的な移住・定住も見据え、**関係人口・交流人口の拡大**を推進
- 併せて、人口減少対策の土台となる県民の豊かな生活や地域の持続的な発展に不可欠な「産業の稼ぐ力の向上」に積極果敢に対応
- こうした県づくりを進めるにあたり、県民の暮らしと経済活動の基盤である「安全・安心の確保」を重視し、着実に推進

### （施策展開で重視する視点）

- ▶ 限りある行政資源の下でより実効性の高い取組みを展開していくため、特に重点的な対応が必要となる課題（下記の「主な方向性」で赤字記載したもの等）については、関連する施策を、部局や分野の枠を越えて「政策横断」的に推進
- ▶ また、あらゆる施策において、「新たな技術」や「多様な価値観」、「国内外の活力」を積極的に取り込むとともに、市町村をはじめ、県民、NPO、企業、大学など「多様な主体との連携」を加速し、新たな取組みにも積極的に「挑戦」

### 主な方向性

#### 1. 中長期を見据えた「人口減少対策」の強化 ～山形の魅力向上・発信、デジタル化、人材の育成・確保と活躍の促進～

##### （人口減少の抑制）

- 本県発展の未来の担い手となる子どもや若者の郷土を愛し、誇りに思う心の醸成
- 若者・女性の県内定着・回帰の促進に向けた、魅力的な、働きやすい、暮らしやすい地域づくり
- 若者・子育て世代のニーズに即した、結婚、妊娠・出産、子育て支援の充実
- 将来的な移住・定住も見据えた、様々な分野における関係人口・交流人口の創出・拡大
- 外国人材の受入・定着の促進に向けた多文化共生の推進、大学・企業等と連携した受入れの拡大

##### （人口減少への対応）

- 暮らしの様々な分野におけるデジタル化の推進
- 地域課題の解決に向けた、地域と企業・大学等が連携した新たな取組みの創出促進
- 若者・女性・高齢者・障がい者等の一層の社会参画や積極的な挑戦に向けた包摂性・寛容性の高い地域づくり
- 地域の将来を担う子ども・若者に対する教育の充実、様々な世代や分野に対応した学び直しの機会の充実

#### 2. 時代の変化を推進力とした「産業の稼ぐ力の向上」～新たな支那や国内外の活力の取込み、地域資源の活用促進、県民所得の向上～

##### （DX・GX、起業等の促進）

- デジタル技術の活用等による企業や農林漁業者等の生産性向上の促進
- 分野や新旧の垣根を越えた企業間連携や先端技術の活用等による高付加価値な製品・サービスの開発の促進
- 再生可能エネルギーの活用をはじめ、企業のカーボンニュートラル・資源循環に向けた取組みや関連産業への参入の促進
- 県産農産物の一層のブランド化や食関連産業での利用拡大など、「山形の豊かな食」を活かす取組みの拡充
- 社会課題の解決を目指すスタートアップ等の起業支援の充実、地域の産業をけん引する中核的企業の育成・誘致

##### （人・モノの交流の拡大）

- 国内外から多様な来訪者を呼び込む魅力や価値のある交流機会や交流プログラム等の造成と発信力の向上
- 国内外の人的ネットワーク等を活用した、県産品の販路拡大や県内投資の促進
- 交流を支える交通ネットワークの整備やまちの賑わいを創出し、魅力を高める機能の向上

#### 3. 様々なリスクへの対応強化による「安全・安心の確保」～地域防災力の向上、気候変動・超高齢社会等の将来への備え～

##### （大規模災害、気候変動への対応の強化）

- 事前防災から応急対応、迅速な復旧・復興まで、関係機関と連携したハード・ソフト両面からの対策の充実
- 子どもの頃からの防災教育の充実、学校・企業・福祉施設等における備えの強化など、地域総ぐるみでの防災力の向上
- 異常気象から県民の命と暮らしを守る取組みの強化、本県産業における地球温暖化への計画的な対応の推進

##### （日常生活のリスク等への対応の強化）

- 高齢化や社会経済のデジタル化等を踏まえた、交通安全や犯罪防止、消費者保護に関する取組みの充実
- 貧困層に対するサポート体制の充実及び孤独・孤立等の問題への社会全体での対応の推進
- 超高齢社会を見据えた医療・福祉・介護提供体制の整備、健康寿命の延伸に向けた健康づくりや高齢者の社会参画の促進

# 今後の施策展開の方向性に基づく取組みの例

## 中長期を見据えた「人口減少対策」の強化

### ☆若者・女性の県内定着・回帰の促進に向けた、魅力的な、働きやすい、暮らしやすい地域づくり

- ・若者・女性の志向に合った仕事の創出・誘致
- ・県内企業の賃金向上の促進、「やまがたスマイル企業」の拡大など職場環境改善の促進
- ・学生の県内就職に向けた奨学金返還支援事業の登録企業の拡大
- ・交流拠点整備によるまちの賑わいの創出 等



「やまがたスマイル企業」の就活生向けPRチラシ

### ☆将来的な移住・定住も見据えた、様々な分野における関係人口・交流人口の創出・拡大

- ・山形ならではの仕事や観光、地域との交流等を活かした体験事業の実施や企業研修の誘致等による関係人口の更なる創出・拡大
- ・県人会など、本県関係者とのネットワークを活用した関係人口・交流人口の拡大 等



やまがた移住・交流フェア2024

### ☆外国人材の受入・定着の促進に向けた多文化共生の推進、大学・企業等と連携した受入れの拡大

- ・多文化共生社会の実現に向けた外国人材と地域住民との相互理解の促進
- ・外国人材の子弟も含め、安心して生活できる居住・教育環境の整備
- ・県民や企業等の国際性の向上に向けたアウトバウンド・相互交流の促進 等



在住外国人の日本語学習

### ☆暮らしの様々な分野におけるデジタル化の推進

- ・デジタル化のモデル的・先導的な取組みの実施及び成功事例の横展開の推進
- ・誰もがデジタルの恩恵を受けられるためのデジタルバйд対策の推進
- ・デジタル化をけん引する高度デジタル人材の育成と県内定着の促進 等



オンライン診療

### ☆若者・女性・高齢者・障がい者等の一層の社会参画や積極的な挑戦に向けた包摂性・寛容性の高い地域づくり

- ・固定的な性別役割分担意識や、無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）の解消に向けた意識啓発の推進
- ・女性が自身の希望に沿ったキャリアを形成し、自己実現や成長につなげるための支援の充実
- ・障がい者の特性や意欲に応じた就業機会の拡大 等



ユースリーダー養成講座

### ☆地域の将来を担う子ども・若者に対する教育の充実、様々な世代や分野に対応した学び直しの機会の充実

- ・児童生徒の興味・関心・特性を踏まえた個別最適な学びと協働的な学びの一体的な推進
- ・児童生徒が企業や地域社会と関わり、産業の現場や地域の資源・文化に触れる機会の拡充
- ・産業構造の変化に対応したリスクリングに対する支援の充実 等



1人1台タブレット端末を活用した学習

## 時代の変化を推進力とした「産業の稼ぐ力の向上」

### ☆デジタル技術の活用等による企業や農林漁業者等の生産性向上の促進

- ・県内企業のDX推進に向けた伴走支援の充実
- ・生成AI等の先端技術を活用できる人材の育成・確保の促進
- ・スマート農業技術の導入に向けた相談支援体制の拡充 等



タブレットによる情報のデータ化

### ☆再生可能エネルギーの活用をはじめ、企業のカーボンニュートラル・資源循環に向けた取組みや関連産業への参入の促進

- ・地域と共生した再生可能エネルギー導入のさらなる拡大と地域内循環による地域活性化の促進
- ・洋上風力発電の事業化を通じた県内関連企業等によるサプライチェーンへの参入の促進 等



洋上風力発電(イメージ)  
出典:経済産業省資源エネルギー庁HP

### ☆県産農産物の一層のブランド化や食関連産業での利用拡大など、「山形の豊かな食」を活かす取組みの拡充

- ・やまがたフルーツ150周年を契機とした、本県果物の魅力の国内外への発信力の向上
- ・地域の食品産業を中心とした多様な関係者による、県産農林水産物を活用した新たなビジネスの創出に向けた支援の充実 等



やまがたフルーツ150周年

### ☆国内外から多様な来訪者を呼び込む魅力や価値のある交流機会や交流プログラム等の造成と発信力の向上

- ・観光消費額の高い国内外の旅行者をターゲットにしたコンテンツの充実や受入体制の整備
- ・観光マーケティングやデジタルを活用できる人材の育成 等



山寺 開山堂

## 様々なリスクへの対応強化による「安全・安心の確保」

### ☆事前防災から応急対応、迅速な復旧・復興まで、関係機関と連携したハード・ソフト両面からの対策の充実

- ・治水対策、インフラ長寿命化等の県土強靱化のさらなる推進
- ・適切な避難行動及び市町村等による迅速な避難所の立ち上げと質の高い避難生活に向けた平時からの備えの充実
- ・住民の円滑な避難に向けたデジタル技術の活用促進 等



令和6年7月の大雨による荒瀬川の被災状況

### ☆異常気象から県民の命と暮らしを守る取組みの強化、本県産業における地球温暖化への計画的な対応の推進

- ・脱炭素型ライフスタイルへの転換の促進
- ・高温に対応した新品種・技術の開発・普及等、農林水産業の気候変動への対応の推進
- ・気候変動をチャンスと捉えた商品開発等の促進 等



高温対策技術の例(遮光資材)

### ☆超高齢社会を見据えた医療・福祉・介護提供体制の整備、健康寿命の延伸に向けた健康づくりや高齢者の社会参画の促進

- ・医療人材・介護人材の安定的な確保、どこに住んでいても適切な医療を受けられる体制の整備
- ・健康な高齢者の多様な就業機会の確保等による社会参加の促進 等



外国人介護人材向け研修・交流会